

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第5回都市基盤整備部会
開催日時	平成 28年 6月 15日 18時 30分 ~ 20時 20分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎4階大会議室
出席委員	松前部会長、三澤副部会長、中尾副部会長、大野委員、奥山委員、長内委員、工藤委員、中館委員
事務局出席者	中村部長、天野室長、中野課長、鷺見主幹、藤井場長、小野場長、山岸主幹、東課長、西村主幹、石橋課長、渡辺主幹
審議事項	第2次総合計画における基本目標の設定について
発言内容	<p>● 基本目標の設定について 事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基本目標の設定 ② 基本目標の説明文の設定 ③ 小項目の説明文の設定 ④ その他 <p>上記について事務局説明</p> <p>● 地域公共交通について</p> <p>◎ 事務局 基本計画書について、一部変更の報告をさせていただきたい。 JR北海道に関して、状況が変わってきたため、一度了承いただいた内容について、修正案を提出させていただきたい。</p> <p>1) 「現状と課題」 「利用の少ない列車や駅の見直し等、厳しい内容の提案がされていることから、今後、宗谷本線の維持を関係機関にも求めていかなければなりません。」の文言追加。</p> <p>2) 「施策の基本的な方向性」 要望先を、「JR北海道」から「国・北海道及び関係団体」へ修正提案。</p> <p>3) 「基本事業」 「宗谷本線の活性化の促進」から「宗谷本線維持活動の推進」へ修正提案。 説明文で、「維持」の文言追加と、要望先を「国・北海道及び関係団体」へ修正提案。</p>

■部会長 事務局案を承認

●高規格道路に関して

■委員 高規格道路の早期着工を要望することは重要と思う。

◎事務局 1次計画は整備促進としていたが、現在事業が進捗していることから早期完成という表現にしている

■委員 要望は期限を設定した要望になるのか。

◎事務局 期限を決めた要望ではなく早期完成を訴えていく内容となる。

●公共交通に関して

■委員 公共交通についてはバスなどでは補いきれない状況も出てきている。高齢化が進行しており、バスに乗ることもままならない方もいる。そういった状況にどう対応していくのが課題。

■委員 タクシーチケットの助成があったはずだが。

◎事務局 障がい者の方への助成はある。

■委員 地域のグループが移動サービスを実施している他の自治体の例があるようだ。

◎事務局 公共交通の施策では対応は難しい課題。ソフト面での福祉施策などに関わる話になるので担当部署に伝えさせていただく。

■委員 福祉車両など寝たきりの方にも対応できる車両を公共交通事業者では保有しているのか。

◎事務局 保有してないと思う。福祉施設などではそれぞれ活用されている。

●利雪親雪について

◎事務局 前回の部会議論で、雪に親しむ「利雪親雪」の施策については、条例があり市の施策や市民生活全体に関わりのある考え方になるので、個別の事業で搭載するのではなく基本構想でまちづくりのテーマのよう表現することとなった。その内容についてご確認いただき追加すべきキーワードなど意見をいただきたい。

■委員 イベントやスポーツも大事だが、雪や寒さを活かした経済効果、例えば企業誘致なども含めることができるとよい。

■委員 「利雪親雪」という言葉が市民に浸透していない。タイトルに「利雪親雪」を含めてほしい。

■委員 条例を基本とした考え方となる。整合性に配慮した内容とすべき。

◎事務局 意見について配慮させていただき、総務部会へ提案させていただく。

●防災対策の充実について

■委員 冬の天変地異による避難所や長時間にわたる大停電を想定した場合の避難所の開設や暖房の準備はできているのか。

◎事務局 避難所については同様に開設できるようになっています。しかしながら、猛吹雪の場合の車両移動中の非難につきましては、避難所迄の移動が難しいことから、近傍のコンビニ等に避難するような情報発信をしています。また、停電による暖房器具の準備につきましては、全市的に数日に及ぶような大停電への対応にはなっていませんが、名寄。風連庁舎には電気不要のストーブを配置しています。

●全体の表現について

■委員 目標設定の例文の中で「市民の財産を守る」「市民の財産を保護する」ように表現が違う。統一したほうがよいのでは。

◎事務局 統一します。

●下水道・個別排水の整備について

■委員 個別排水は農村地区に何基くらい設置がされているのか。

◎事務局 現在、約480基設置している。平成25年～39迄の15カ年計画で160基を設置する計画になっています。

●長寿命化全般について

◎事務局 道路や橋梁も同じだが、上下水道も新規更新ではなく、既存の施設を長持ちさせる施策に変わってきているので、長寿命化計画という内容や表現が多くなっています。

	<p>■委員 水道があれば、当然下水道もある。これらは相互関係にあると思う。施設の長寿命化という文言について、名寄の下水処理場も大きな施設であるが、具体的に更新計画などはあるのですか？</p> <p>◎事務局 1回目の機械更新が終わり2回目に入っている。汚水を扱うので傷みも早いため水道施設より更新サイクルが短い。雨水関係がこれから更新となる。</p> <p>■委員 必要な設備であれば、消防なら消防車であるように、市民の目は届かないが、上下水道施設は生活に密着した部分であるので確実な実施をするべき。</p> <p>◎事務局 処理場自体を長寿命化するもので、機械も1億、2億と非常に高い。辛抱を重ねて更新してきている。</p> <p>●その他 今後のスケジュールについて確認</p>
<p>決定事項等</p>	<p>基本目標及び説明文書 基本目標小項目の説明文書 基本計画（地域公共交通）の変更</p>